

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和5年12月11日（月）11時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 シビアアクシデント研究部門

星上席技術研究調査官、栃尾主任技術研究調査官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

安部室長補佐（テレビ会議システムにて参加）、岩野調整係長

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムにて参加）

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者2名

プロジェクトマネジメント室 担当者1名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（テレビ会議システムにて参加）

福島研究開発部門 廃炉環境国際共同センター

燃料デブリ研究ディビジョン 担当者1名

#### 5. 要旨

- 原子力規制庁は、本年10月30日に開催した東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会等において東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）及び国立研究開発法人日本原子力研究開発機構福島研究開発部門廃炉環境国際共同センター（以下「JAEA廃炉環境国際共同センター」という。）に伝えていた、福島第一原子力発電所2号機格納容器X-6ペネハッチ開放作業に係る確認事項について回答を求めた。
- これに対して、東京電力及びJAEA廃炉環境国際共同センターから資料に基づき回答がなされた。
- また、原子力規制庁から、X-6ペネ内部の堆積物とX-6ペネの外側に流出した物質を同様のものと推定した理由等についてJAEA廃炉環境国際共同センター及び東京電力に確認するとともに、その他当該確認事項の回答について事実関係の確認を行った。

#### 6. 資料

- 1F2号機格納容器X-6ペネハッチ開放作業に係る確認事項

以上